



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年8月10日 No.345

爆発的に新型コロナウイルスの感染が拡大中！

JR東日本は「社員を守る」と言っていますが 職場実態と矛盾していませんか？

新型コロナウイルス感染拡大の勢いが止まりません。政府は8月2日に埼玉、千葉、神奈川、大阪の4府県に「緊急事態宣言」を追加発令し、あわせて東京都、沖縄県の発令期間を8月31日までに延長したほか、8月8日から福島、茨城、栃木、群馬県など8県に対し「まん延防止等重点措置」を適用しました。

会社はこれまで「新型コロナウイルスから社員を守る」と言ってきました。しかし、感染力が非常に強いとされるデルタ株が都市部を中心に猛威を振るう中、職場における感染予防対策の実態は一年前に実施した対策を大きく改善することなく、むしろマスクの個人配布の停止や社員の休憩室を統合してワンフロア化を進めたことによる3密化など「感染予防対策が悪化していないか」「まったく改善されない」との不安や不満の声が現場社員からあがっています。

私たち東日本ユニオンは、すべての地方本部が各支社に「感染予防対策の改善を求める申し入れ」を提出しているほか、中央本部も6月に「新型コロナウイルス感染予防に関する申し入れ」を経営側に提出しています。しかし、提出から2ヶ月が経過しましたが、いまだ本部・本社間での団体交渉が開催されていません。

現実に向き合おうとしない会社の姿勢は、社会的使命を担う社員の安全と健康を、そして安心して鉄道をご利用していただくお客さまを「軽視しているのではないか」と言わざるを得ません！

対策が講じられない現場の悲痛な声！

いまだに「うがい薬を置いていない職場」が存在している

列車が乱れたときの「乗務員休憩室」の3密回避対策が不明確である

新白河駅から総合研修センターに向かうバスが混み合い、会話も普通にされており、感染予防対策は大丈夫なのか

マスクが「個人で確保しやすくなった」として、マスクの社員配布を停止

緊急事態宣言下で県を跨いでの出張や研修を延期しない理由はあるのか

具合の悪いお客さまの対応について、はっきりとした指導がない



「新型コロナウイルス感染予防」に関する緊急申し入れを提出！